



かわおか



自分も人も **しあわせ** になる学校をめざして ~かしこくなる やさしくなる えがおになる~

学校だより
学校評価後期号

令和8年3月13日発行

後期学校評価アンケートからの分析・考察

◆はじめに

今年度も、「自分も人も **しあわせ** になる学校をめざして」という学校教育目標を掲げ、様々な取組を進めてきました。子どもたちからも、「しあわせになる」という言葉が「学習のふりかえり」、「行事のふりかえり」などからも聞かれるようになり、学校教育目標が浸透し、体現化されてきているのを感じます。

後期に行った学校評価についての結果をご報告いたします。前期と比較してご覧下さい。今後の子ども達の成長につなげていきたいと思っております。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

かがやみらいノートについて

かがやみらいノートで、自分のためになるべんきょうをしていますか。

やることを見つからず困っている児童の数値です

前期

児童

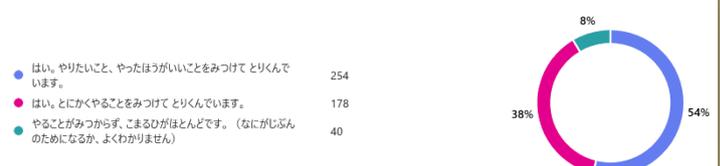
9%

8%

8.「かがやみらいノート」で、じぶんのためになるべんきょうをしていますか。(0 点数)



8.「かがやみらいノート」で、じぶんのためになるべんきょうをしていますか。(0 点数)



家庭学習について

お子様は、すすんで家庭学習にとりこんでいますか。

できていないという回答の数値です。

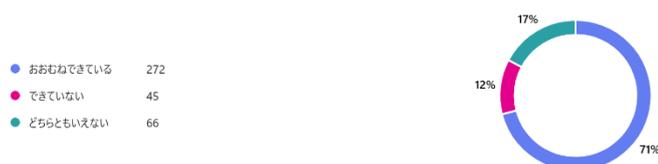
後期

保護者

12%

10%

6. お子様は、すすんで家庭学習に取り組んでいますか。(0 点数)



6. お子様は、すすんで家庭学習に取り組んでいますか。(0 点数)



創立152周年

京都市立川岡小学校

明治5(1872)年9月24日創立

校長 居林 晃一郎

〒615-8106 京都市西京区川島滑樋町 14

電話 075(381)2032 ファックス 075(391)5031

ホームページ URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/kawaoka-s/>

児童アンケートの『「かがやみらいノート」で、じぶんのためになるべんきょうをしていますか。』の質問では、『やることがみつからず、こまる日がほとんどです。(なにがじぶんのためになるか、よくわかりません)』と回答した児童が9%から8%に減りました。全体をみても多くの児童については、「かがやみらいノート」について、自分なりのやり方を見つけ、取り組むことができているようです。児童の中には、自分の興味のあるものを追及したり、テストに向けて計画的に学習を進めたりとまさに、自分のためになる勉強を実践している人もいます。しかし、まだまだ見つけられていない児童もいることに目を向け、個々に応じて支援をしていきたいと思えます。

保護者アンケートの『お子様はすすんで家庭学習をしていますか。』の質問では、『できていない』の回答が前期が12%、後期が10%でした。昨年度と比べても、数値が改善されております。今年度、「かがやみらいノートレベルアップ大作戦」として、自分にとってよりよいかかがやみらいノートとはどんなノートか、どんなところをレベルアップさせていけばよいかという学習を中学年で行いました。次年度は、どの学年でも実施し、みんなにどんな力がついているかが実感できるかがやみらいノートになるように支援していきたいと考えています。家庭学習の充実は確実に児童の力につながっています。今後ご協力よろしくお願ひします。

教科担任制・交換授業について

前期

児童

後期

13. たんにのせいせいでなく、がっこうのいろいろなせんせいが みんなのじゆぎょうをすることを どうおもいますか。ニコニコマークのかわで「うれしさ」をおしえてください。(すごくうれしい→5つ まあまあうれしい→4つ ふつう→3つ あまりうれしくない→2つ うれしくない→1つ) (0点数)

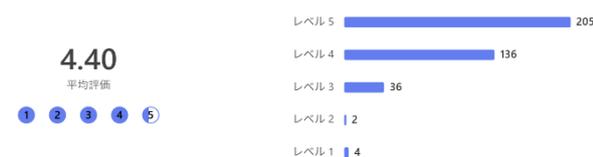


13. たんにのせいせいでなく、がっこうのいろいろなせんせいが みんなのじゆぎょうをすることを どうおもいますか。ニコニコマークのかわで「うれしさ」をおしえてください。(すごくうれしい→5つ まあまあうれしい→4つ ふつう→3つ あまりうれしくない→2つ うれしくない→1つ) (0点数)



保護者

11. 教科担任制・交換授業・専科授業・管理職や教務主任の訪問授業等、担任以外にも多くの教員が授業を行うこと。(0点数)



11. 教科担任制・交換授業・専科授業・管理職や教務主任の訪問授業等、担任以外にも多くの教員が授業を行うこと。(0点数)



中学年以上では授業交換を導入し、いろいろな先生が授業を毎日行うようにしています。また、低学年でも单元ごとに教科担任を行ったり、教頭や校長が授業を行ったりしています。前期同様、後期も児童、保護者、双方のアンケート結果からも、様々な先生が授業を行うことについて満足度は高いという回答を得ることができました。授業交換を含めた、たくさんの教員が授業する取組は今後も続けていきたいと考えています。また、学校全体ですべての児童を見ていくということを大切に一人一人に寄り添える川岡小でありたいと思えます。